

- 新世代モバイル通信システム委員会の審議再開を受け、技術検討作業班としての今後の主な議題（案）を以下のとおり整理

## 技術検討作業班における主な議題（案）とポイント

### 1. WRC-19議題1.13候補周波数帯の共用検討

- 候補周波数帯のうち、3GPPにおいて技術基準が検討済である40GHz以下の周波数のうち、24.25～27.0GHz（Band n258）及び37.0～40.0GHz（Band n260）について共用検討等の結果を審議（特に26.6～27.0GHz及び39.5～40.0GHz）

### 2. 4.9-5.0GHzの共用検討

- 今後共用検討等を実施し、その結果を審議

### 3. 2.3GHz帯及び2.6GHz帯の共用検討

- 別途の共用検討の結果を審議

### 4. 既存の携帯電話事業者等の周波数の5G化（既存バンドのNR化）に関する検討

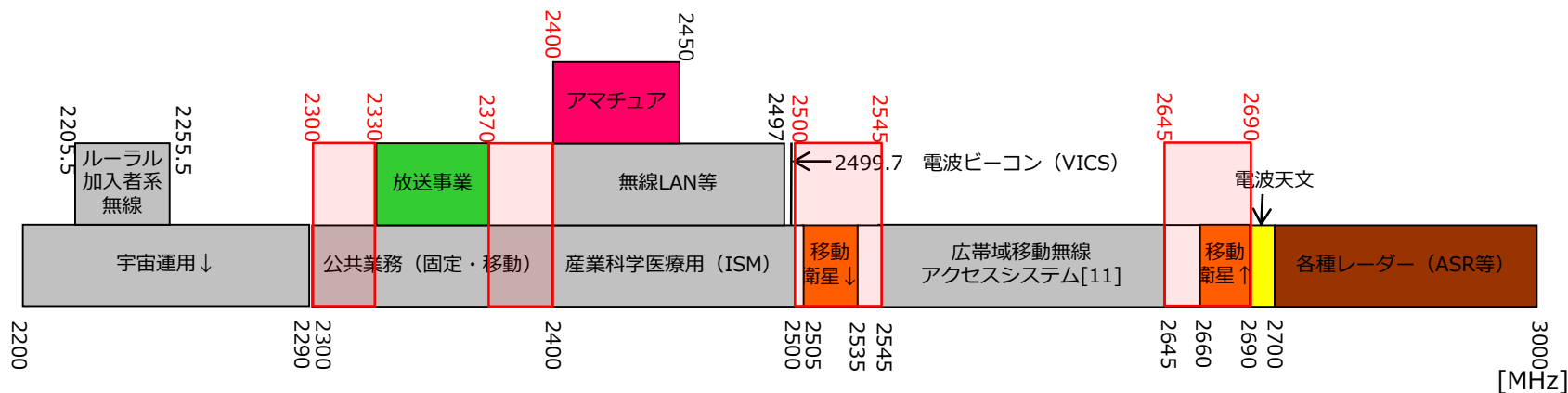
- 700MHz～3.5GHzの既存バンドに、5Gの技術的条件を導入するための共用検討等

### 5. 定期検査の在り方に関する検討

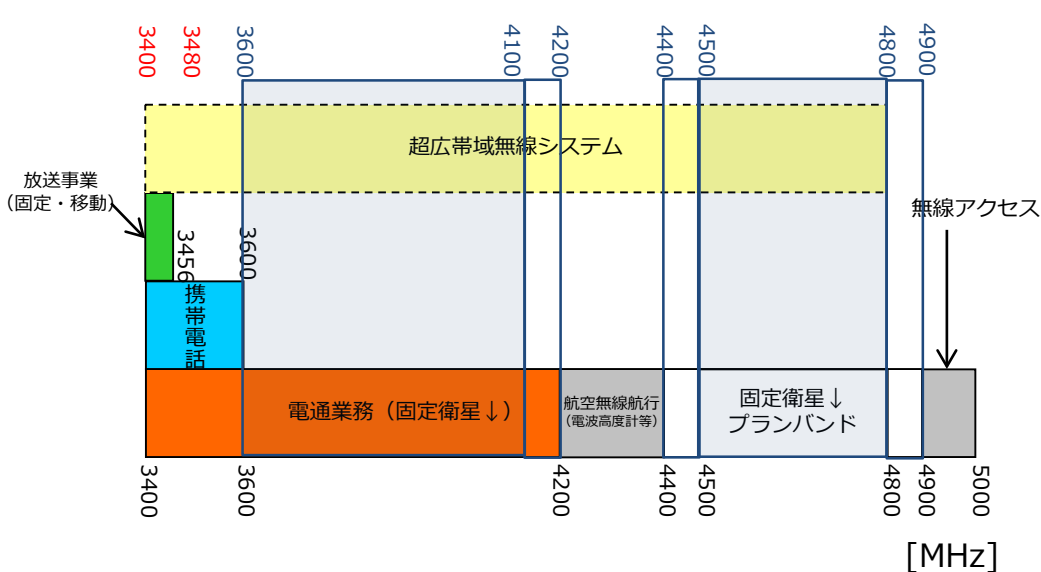
WRC-19を含む5G候補周波数帯

5G割当て予定周波数帯

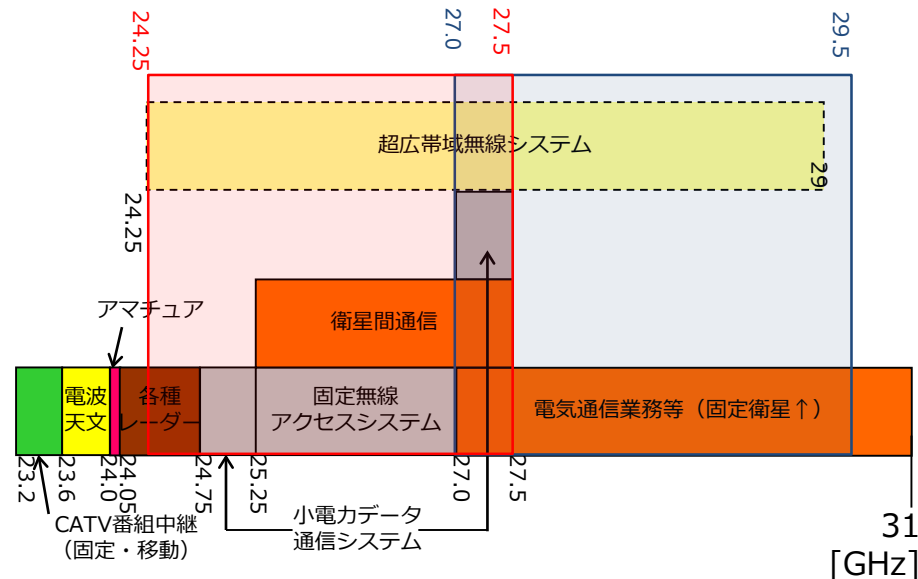
## 1. 2.3GHz帯、2.6GHz帯周辺の使用状況



## 2. 3.4-4.9GHz周辺の使用状況

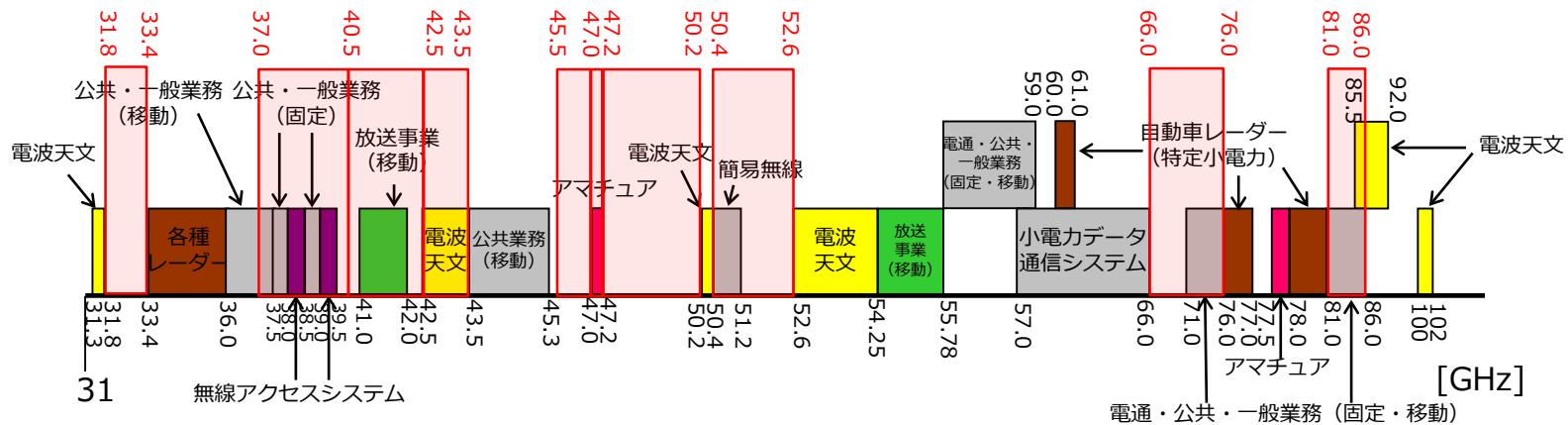


## 3. 24.25-29.5GHz周辺の使用状況



※我が国の電波の使用状況(平成28年12月)より作成

## 4. 29.5-86GHz周辺の使用状況



# 「次回割当て」に向けた共用検討

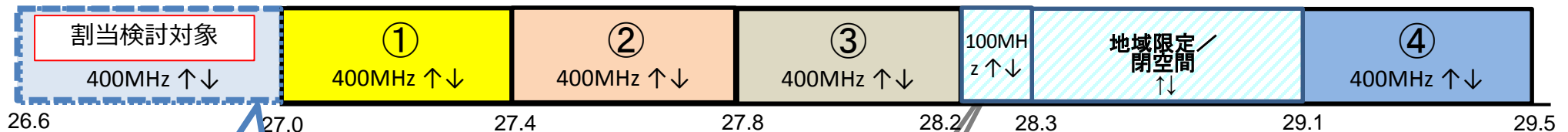
## 【4.5GHz帯】



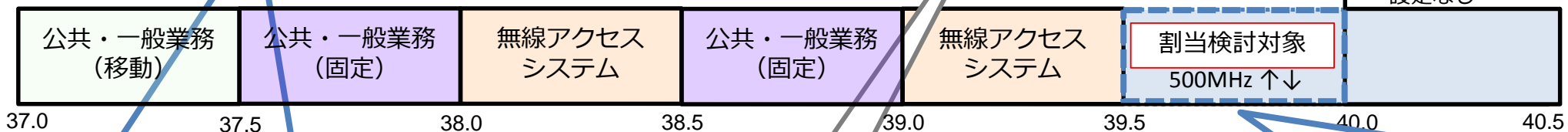
### ○ 5GHz無線アクセスシステムの状況

- 登録局（包括免許+個別免許）で、**12,017局、登録人数は416**（平成27年度電波利用状況調査）
- 登録人は通信事業者のほか、山小屋やテーマパークなど多様。

## 【28GHz帯等】



## 【37GHz帯等】



### ○ 固定無線アクセスシステム(25.25-27GHz)の状況

- このうち26.6-27.0GHzについては約470局（帯域の総数としては5,101局（平成27年度電波利用状況調査））。技術試験事務の結果では**同一周波数帯では共用困難**。

### ○ 衛星間通信・地球探査衛星（↓）の状況

- 技術試験事務の結果は**同一周波数帯では共用に課題がある**状況。

前回委員会報告で共用について検討済

### ○ 39.5-40.5GHzの状況

- 39.4-40.0GHzについては**同一周波数を使用する無線システムが存在せず**、隣接周波数を利用する無線アクセスシステムとの共用検討結果の整理が必要。
- 40.0-40.5GHzについては、同一周波数使用する無線システムが存在せず、3GPPにおけるバンドプラン（技術的条件）の策定状況を踏まえて検討。